

【ルールの概要（抄出）】

◎ 参加チーム

- ・立論団体は、各大学2チーム（立論者は各1名）とする。

◎ 司 会

- ・司会はゼミ担当者が分担して行う。
- ・公平を期すため、司会は立論報告者が所属するゼミの担当者以外の教員が担当する。

◎ 立 論

- ・各チームのうちの1名が、10分以内に与えられた問題についての立論を行う。
- ・立論は、あらかじめ与えられた問題に対する解答について結論を述べた上で、結論に至る理由を述べるものとする。
- ・立論者が立論するにあたっては、その内容は、論旨の明快なものでなければならない。
- ・立論に際しては、まず結論を述べ、続いて結論に至る理由を述べるものとする。
- ・司会者の監督のもと立論開始後9分を経過した時点で、Zoom上のチャット機能により通知する。
- ・10分の立論時間を超えた場合には、司会者は立論をやめさせることができる。
- ・立論は口頭によって行うものとする。
- ・パワーポイントの利用は認めない。

◎ 質疑に関するルール

- ・立論終了後、約3分間の質問考慮時間を設ける。
- ・質問考慮時間中は、グループごとで相談して質問を考慮して良いものとする。なお、質問について相談するにあたっては、グループごとにLINE等のツールを利用して行って良いものとする。
- ・質疑に対する応答は立論者一人で行うものとする。立論者が質疑応答中にLINE等のツールにより他者からアドバイス等を受ける行為は禁止する。
- ・質問時間は17分程度とする（質問考慮時間と合算して約20分程度）。質問の継続、打ち切り等の時間配分は、すべて司会者の裁量とする。
- ・質問形式は、自由質問とする。ただし、一人の質問者の一回あたりの質問時間は、おおむね3分を限度とする。
- ・出席者は、立論内容について自由に質問をすることができる。ただし、立論者と同じチームに所属する者からの質問は、認めない。
- ・司会者、審査員その他の教職員は質問をすることができない。

- ・質問をしようとする者は、Zoomの「手を挙げる」ボタンを利用する。
- ・司会者は、可能な限り多様なゼミ生および学生から質問が出るように配慮した上で、質問をしようとする者に対して、質問の許可をすること。
- ・司会者より質問の許可を受けた者は、自らの所属（学科、学年など）と氏名を明瞭に述べた上で、立論者の立論内容に対して、質問をすること。
- ・立論者は、質問に対してその回答を明確に答えなければならない。ただし、発言が聞き取れなかった場合にのみ、司会者に対して、質問者に再度質問をするよう求めることができる。
- ・立論者から再度質問をするよう求められた場合、司会者は、質問者に対し、再度明瞭に質問をするよう求めることができる。
- ・司会者から再度質問するよう求められた場合、質問者は、再度明瞭に質問をすること。
- ・逆質問（立論者から質問者に質問すること）は禁止する。
- ・他のチームが質問する場合、その質問が自分たちの立論と矛盾していてもかまわない。

◎ 採 点

- ・各チームにつき、立論内容（レジュメの内容含む）と質問に対する応答の仕方について審査員が採点し、上位3チームを表彰する。
- ・各チームに対して行われた質問についても審査員が別途採点を行い、得点の高い3つの質問についてその質問者個人（出場チームの一員であるか否かを問わない）を表彰する。